日本印度学仏教学会

第66回学術大会

会　期　2015年９月19日（土）～９月20日（日）

会　場　和歌山県伊都郡高野町高野山385

高 野 山 大 学

日本印度学仏教学会

第１部会（本館402教室）

９月19日（土）　午前の部（９：00～12：00）

１．生死に流転する身体―古典サーンキヤ体系における輪廻主体考―　近藤　隼人（東京大学大学院）
２．ジャヤデーヴァの言及する“saṃsargamaryādā”　岩﨑　陽一（東京大学大学院）
３．『ヴィヨーマヴァティー』における時間の知覚説　渡邉　眞儀（東京大学大学院）
４．語形論とスポータ理論―認識論における普遍観について―　斉藤　茜（日本学術振興会特別研究員 PD）
５．マドゥスーダナ・サラスヴァティーの文献に見られるブラフマンとヒラニヤガルバの関係　眞鍋　智裕（早稲田大学非常勤講師）
６．Madhva、および Jayatīrtha の Pāśupata 批判―*Brahmasūtra* 2.2.37-40に対する Dvaita の回答―　池端　惟人（京都大学非常勤講師）
７．『バガヴァッドギーター』II.11の解釈をめぐって　加藤　隆宏（東京大学助教）
８．シヴァ派再認識派写本の欄外註について　川尻　洋平（筑紫女学園大学人間文化研究所リサーチアソシエイト）
９．シャンカラ派における信（śraddhā）の概念とその意味　澤井　義次（天理大学教授）

９月19日（土）　午後の部（13：20～16：00）

１．Utpala による『Khaṇḍakhādyaka 注』に見られる「miśra」について　呂　鵬（京都大学大学院）
２．caturthīの意味にまつわる小考察　友成　有紀（日本学術振興会特別研究員）
３．*Aṣṭādhyāyī* 1.3.56における svakaraṇa の意味―伝統的解釈と世間の言語慣習の対立―　川村　悠人（日本学術振興会特別研究員 SPD）
４．韻律と言語特徴から見た *Bharateśvara-bāhubali-rāsa* の成立状況　山畑　倫志（北海道科学大学講師）
５．インド古典建築論における村落の構造について　出野　尚紀（東洋大学東洋学研究所客員研究員）
６．The Karṇāṭaka Connection: Siṅhabhūpāla II's Influence on Bengali Vaiṣṇava Aesthetics　置田　清和（京都大学白眉センター特定助教）
７．Prajāpati の骨盤が外れた神話　西村　直子（東北大学非常勤講師）
８．「断食」から「真実（語）」へ―祭主の Vrata「責務」の転換（Śatapatha-Brāhmaṇa Ⅰ 1,1）―　阪本(後藤)純子（宮城学院女子大学特別研究員）

９月20日（日）　午前の部（９：00～11：20）

１．醍醐の正体をめぐって　里見英一郎（東京大学大学院博士課程満期退学）
２．ヤジュルヴェーダマントラに現れる *vidhenāman* と *vṛdhātu* の語を巡って　天野　恭子（日本学術振興会特別研究員 RPD）
３．黄金の puruṣa の次に2つの sruc（献供用の柄杓）が無言で置かれることについて　伊澤　敦子（国際仏教学大学院大学附属図書館員）
４．王権即位式と婆羅門　大島　智靖（東京大学死生学・応用倫理センター特任研究員）
５．On the Scansion of the Sequence -eyā- in the Vedic Root Aorist Optatives　Adam Catt（京都大学講師）
６．アシュヴァメーダの動物リストとその形成　手嶋　英貴（京都文教大学准教授）
７．インドラへの懐疑と信心―RV II 12,5―　堂山英次郎（大阪大学准教授）

＊発表者は発表時間の40分前までに会場にお入りください。

第２部会（本館403教室）

９月19日（土）　午前の部（９：00～12：00）

1．ジャイナ教徒のカースト・ゴートラに関して―デリーの白衣派尊像崇拝派を例として―
清水　晶子（公益財団法人中村元東方研究所研究員）
2．在家信者と断食死　堀田　和義（大谷大学任期制助教）
3．Kanaganahalli 大塔における祇園精舎布施の場面について　中西麻一子（佛教大学大学院）
4．波羅夷第三条条文の考察　李　　薇（花園大学大学院）
5．過去七仏と縁起成仏説　天野　　信（龍谷大学非常勤講師）
6．不邪婬戒再考―風俗通いは許される？―　岩井　昌悟（東洋大学准教授）
7．Anavatapta-gāthāの序文について　杉本　瑞帆（龍谷大学大学院研究生）
8．「ダルマラージカー建立物語」について　山崎　一穂（日本学術振興会特別研究員）
9．インドネシア、バリ島におけるヒンドゥー教の通過儀礼について　山口しのぶ（東洋大学教授）

９月19日（土）　午後の部（13：20～16：20）

1．TJAM 第18章の研究―Pravrajyābhigamanaprārthanābhisaṃbodhana-parivarta―
楊　　暁華（九州大学大学院）
2．『ウダーナヴァルガヴィヴァラナ』における順決択分の忍位について　田中　裕成（佛教大学大学院）
3．説一切有部における２種の随増について　梶　　哲也（大谷大学大学院）
4．能縁が断じられるという断惑の条件について　藤本　庸裕（早稲田大学大学院）
5．九十八随眠説における戒禁取　水野　和彦（花園大学研究生）
6．有部の順解脱分と「想起触媒型」大乗経典　佐々木　閑（花園大学教授）
7．大乗涅槃経と説一切有部　平岡　　聡（京都文教大学教授）
8．『成実論』における三昧について　阿部　真也（大正大学綜合佛教研究所講師）
9．ボン教アビダルマに影響を与える仏教思想―五蘊説を中心に―　熊谷　誠慈（京都大学准教授）

９月20日（日）　午前の部（９：00～12：00）

1．*Saddanīti* の術語理解に関して　渡邉要一郎（東京大学大学院）
2．パーリ語における duṣ-と dviṣ-について　稲葉　維摩（大谷大学任期制助教）
3．パーリ聖典中の śrad-√dhā の構造に関する一考察―動詞形の格支配に注目して―　古川　洋平（日本学術振興会特別研究員 PD）
4．パーリ語動詞の分析的(analytic)語形と融合的(coalescent)語形について　山中　行雄
（ゲッティンゲン大学 DFG Research Fellow）
5．初期パーリ聖典における涅槃の諸相―『スッタニパータ』「ウパシーヴァマーナヴァプッチャー経」1074偈に関して―
富田真理子（大阪大学大学院研究生）
6．行捨(saṅkhāra-upekkhā-)の語義解釈をめぐって　大和田けい子（大正大学大学院満期退学）
7．ナーガ調伏のモチーフ―*Nandopananda*[-*nāgarājadamana*]の形成に関連して―　林　　隆嗣（こども教育宝仙大学教授）
8．*Suddhaṭṭhakasutta* に見るブッダの思想―「彼は欲を貪ることもなく、離欲に染ってもいない」を中心に―
岸本　正治
（国立県営兵庫障害者職業能力開発校非常勤講師）
9．上座部註釈家 Dhammapāla 二人説について　清水　俊史（佛教大学綜合研究所特別研究員）

＊発表者は発表時間の40分前までに会場にお入りください。

第３部会（本館302教室）

９月19日（土）　午前の部（９：00～12：00）

1．常啼菩薩求法譚の研究―『初会』にのみ存在する導入句について―　佐伯　慈海（佛教大学大学院）
2．『維摩経』と文殊菩薩　西野　翠（大正大学綜合佛教研究所研究員）
3．般若経註釈文献における「大乗」「小乗」解釈について　鈴木　健太（北海道武蔵女子短期大学准教授）
4．浄土経典における「蓮華化生」について　肖　越（佛教大学綜合研究所特別研究員）
5．穢土サハー世界における菩薩の行とその功徳に関する逆説的記述　宮﨑　展昌（東京農業大学非常勤講師）
6．Saddhp *samādapana-*／ *samādāpana-*　笠松　直（仙台高等専門学校准教授）
7．一切衆生喜見菩薩説話―法華經藥王品のパラレル研究―　岡田真美子（兵庫県立大学名誉教授）
8．『法華経』と授記―「常不軽菩薩品」を中心に―　鈴木　隆泰（山口県立大学教授）
9．「総合経典」としての『法華経』　岡田　行弘（神戸女子大学瀬戸短期大学名誉教授）

９月19日（土）　午後の部（13：20～16：20）

1．韻律から見た『楞伽経』の成立史問題について―śloka の vipulāパターンに注目して―
石橋　丈史（佛教大学大学院）
2．『楞伽経』の構成に関する一考察　堀内　俊郎
（東洋大学国際哲学研究センター研究助手）
3．『金光明経』「最浄地陀羅尼品」と『大宝積経』「無尽慧菩薩会」について
ウルジージャルガル（東洋大学大学院）
4．『金光明経』における仏菩薩について　日野　慧運（武蔵野大学助教）
5．モハマッド・ナリー出土仏説法図と『大阿弥陀経』　壬生　泰紀（龍谷大学非常勤講師）
6．瑜伽論摂決択分のサンクト・ペテルブルグ写本について　崔　珍景（ミュンヘン大学大学院）
7．Vinayavibhaṅga のサンスクリット語写本断簡　生野　昌範（ミュンヘン大学研究員）
8．『阿闍世王経』の佚文を含む梵文貝葉断簡　加納　和雄（高野山大学准教授）
9．Munimatālaṃkāra から回収された Candragomin の『入三身論』梵文断片
李　学竹（中国蔵学研究中心宗教研究所副研究員）

９月20日（日）　午前の部（９：00～12：00）

1．大乗仏教の伝播の一形態―発心儀礼と三品儀礼（七支供養）―　中御門敬教（知恩院浄土宗学研究所研究員）
2．バーヴィヴェーカの円成実性批判　大谷　光義（駒澤大学大学院）
3．*Prajñāpradīpa-ṭīkā* 第一章における世俗の諸法　西山　亮（龍谷大学非常勤講師）
4．『中観五蘊論』の著作目的―アビダルマ範疇論に対する基礎教学としての理解をめぐって―
横山　剛（京都大学大学院）
5．大乗菩薩の実践階梯における無相（animitta）について　太田　蕗子（日本学術振興会特別研究員 RPD）
6．縁起性論証因に基づく無自性性論証の形成―カマラシーラを中心に―
佐藤　晃（早稲田大学文学学術院助手）
7．『中論』四不生偈の論理をめぐって　斎藤　明（東京大学教授）
8．カマラシーラの著作における正智と二諦説の関係について　林　玄海（京都大学大学院）
9．『大乗掌珍論』における毘婆沙師批判　金　建峻（大谷大学大学院）

＊発表者は発表時間の40分前までに会場にお入りください。

第４部会（本館305教室）

９月19日（土）　午前の部（９：00～12：00）

1．認識発生過程をめぐる初期瑜伽行派と有部の立場　高務　祐輝（京都大学大学院）
2．初期瑜伽行派の大乗的修道論と『十地経』　Vo Thi Van Anh（龍谷大学大学院）
3．瑜伽行派における五種姓説の展開―経典註釈書をもとに―　岡田　英作（京都大学非常勤講師）
4．『解深密経』に見られる有情の種類　加藤弘二郎（武蔵野大学非常勤講師）
5．*Pañcaskandhabhāṣya* におけるアーラヤ識の存在をめぐる論争　佐藤　智岳（九州大学大学院）
6．プラパンチャ（prapañca）の生成過程に関する考察―『順中論』『菩薩地』『摂大乗論』における Asaṅga の解釈を通して―　横井　滋子（広島大学大学院）
7．『大乗荘厳経論』における nimitta の概念―『瑜伽師地論』との比較を通して―　岸上　仁（大谷大学大学院）
8．『大乗荘厳経論』第 XI 章における三性説　間中　充（龍谷大学大学院研究生）
9．『大乗荘厳経論』「真実品」における advaya の一考察　早島　慧（龍谷大学非常勤講師）

９月19日（土）　午後の部（13：20～16：00）

1．『唯識三十頌』第21偈 cd 句の安慧釈の竹村訳は本当に「誤訳」なのか？　北野新太郎（九州大学非常勤講師）
2．ヴィヨーマシヴァとシュリーダラの刹那滅論証批判―その批判の対象と批判の論点―　酒井　真道（関西大学准教授）
3．*Hetubindu* に見られるジャイナ教徒の見解　志賀　浄邦（京都産業大学准教授）
4．存在否定命題をめぐる仏教とニヤーヤ学派の対立　渡辺　俊和（オーストリア科学アカデミーアジア文化・思想史研究所研究員）
5．ダルマキールティの討論とニヤーヤ学派の応答　佐々木　亮（早稲田大学非常勤講師）
6．ダルマキールティによる帰謬の例証（*Pramāṇaviniścaya* 3, p.4）について　吉水千鶴子（筑波大学教授）
7．ダルマキールティ年代論の追加資料　木村　俊彦（四天王寺大学名誉教授）
8．直接知覚（現量）と超能力（神通）　村上　真完（東北大学名誉教授）

９月20日（日）　午前の部（９：00～12：00）

1．ディグナーガによるサーンキヤ知覚説批判の特徴―その批判方法を中心として―　吉田　哲（龍谷大学講師）
2．On Dignāga's Chinese Names　何　歓歓（浙江大学教授、日本学術振興会外国人特別研究員(東京大学)）
3．知の存在に基づいた普遍実在主張を巡る議論について　野武美弥子（早稲田大学非常勤講師）
4．『集量論複注』第4章研究の現状　桂　紹隆（広島大学名誉教授）
5．カルナカゴーミンの Pramāṇavārttika I 48解釈　中須賀美幸（広島大学大学院）
6．アポーハ論におけるダルモーッタラの〈２種の否定〉解釈　石田　尚敬（愛知学院大学専任講師）
7．ディグナーガによるアポーハ説の再検討　吉水　清孝（東北大学大学院教授）
8．アポーハの遍充把握―ディグナーガとクマーリラ―　片岡　啓（九州大学大学院准教授）
9．アポーハ論と名辞―否定名辞・複合語―　上田　昇（目白大学教授）

＊発表者は発表時間の40分前までに会場にお入りください。

第５部会（本館307教室）

９月19日（土）　午前の部（９：00～11：40）

1．Saroruhavajra の説く成就法について　松村　幸彦（東北大学大学院）
2．*Vajravidāraṇa-dhāraṇī* における Buddhaguhya の解釈　田村　宗英（英子）（真言宗智山派智山伝法院常勤研究員）
3．四智讃の成立と展開　德重　弘志（高野山大学密教文化研究所受託研究員）
4．『降三世曼荼羅儀軌』に説かれる前行次第について　伊集院　栞（東京大学大学院）
5．インド後期仏教密教におけるアーラリ系諸文献の位置と性格―『金剛アーラリ・タントラ』と『リギアーラリ・タントラ』を中心に―　大観　慈聖（京都大学大学院修了）
6．インド密教におけるヤントラとその役割　倉西　憲一（大正大学非常勤講師）
7．インド密教における成就法とバリ儀軌について　菊谷　竜太（東北大学専門研究員）
8．『カーランダ・ヴューハ・スートラ』における六字真言と准胝陀羅尼　佐久間留理子（公益財団法人中村元東方研究所研究員）

９月19日（土）　午後の部（13：20～16：20）

1．*Udenavatthu* とその周辺―「ゴーシタ長者前世譚」を中心に―　山口　周子（公益財団法人中村元東方研究所研究員）
2．*Bhavasaṃkrāntisūtra* のプダク写本　津田　明雅（京都大学大学院修了）
3．プダク写本カンギュル所収の『八千頌般若』について　庄司　史生（立正大学助教）
4．チベット語『律経自註』の翻訳者について　米澤　嘉康（大正大学特任専任講師）
5．チベット語訳『華厳経』のプダク写本について　朴　賢珍（東京大学大学院）
6．直接知覚と対象確定作用に関するチベット人学者の解釈―サンプ系学者の解釈を中心として―　西沢　史仁（東京大学大学院修了）
7．モンゴル語訳『無量寿経』の訳語の特徴　ダワードルジ・プルブドルジ（佛教大学大学院研究員）
8．Dīpaṃkaraśrijñāna による二つの所作次第について　望月　海慧（身延山大学教授）
9．後期シチェ派の教誡に関する一考察　西岡　祖秀（四天王寺大学教授）

９月20日（日）　午前の部（９：00～12：00）

1．ツォンカパの書簡について―レンダーワ、ラマ・ウマパ、ツァコポンポ宛の書簡を中心に―　Lamao Zhuoma（大谷大学大学院）
2．ヤンジンスレン氏のロサン・タムディン理解について　横田　千尋（佛教大学研究員）
3．ゲツェ・マハーパンディタによる「サムイェーの宗論」論考―中国仏教とゾクチェン批判への反証―　槇殿　伴子（身延山大学東洋文化研究所研究員）
4．『ガリム・チェンモ』における秘密灌頂・般若智灌頂・第四灌頂について　石部　道明（高野山大学密教文化研究所受託研究員）
5．中有に関するドルジェリンパの思想　安田　章紀（京都女子大学非常勤講師）
6．シッキムの仏教とラツン＝ナムカ・ジクメについて　渡邊　温子（大谷大学任期制助教）
7．チベットにおける仏教と詩―ツォンカパ『縁起讃』を中心に―　根本　裕史（広島大学大学院准教授）
8．Pelliot tibétain No. 786と『大乗二十頌論』　原田　覺（国士舘大学教授）
9．初期チベット論理学書の章構成について　福田　洋一（大谷大学教授）

＊発表者は発表時間の40分前までに会場にお入りください。

第６部会（本館308教室）

９月19日（土）　午前の部（９：00～11：20）

1．安世高訳における「satthar」の訳語について―『長阿含十報法經』の第五法を中心として―
宋　　燕（東京大学大学院博士課程満期退学）

2．蔵訳の文字計算について　荘　　崑木（釋大田）
（東京大学大学院博士課程満期退学）

3．『賢愚経』を構成する説話の文体による分類の試み　石田　勝世（九州大学大学院）

4．摩訶僧祇律における「四波羅夷」の解釈法について―特に「智」を重視する一側面に注目して―
胡　　建明（法音）
（駒澤大学仏教経済研究所研究員、早稲田大学大学院）

5．羅什訳『妙法蓮華経』の古形について　藤井　教公（国際仏教学大学院大学教授）

6．元代「科註妙法蓮華經」の刊行と流通　朴　　鎔辰（国民大学校講師）

7．聖語蔵所収『法華決釈記』巻四について　師　　茂樹（花園大学准教授）

９月19日（土）　午後の部（13：20～15：40）

1．吉蔵の浄土観に関する一考察―仏身論を手掛かりに―　榎屋　達也（龍谷大学大学院）

2．吉蔵による初章義の理解について　藤野　泰二（立正大学非常勤講師）

3．道倫集撰『瑜伽論記』と基撰『瑜伽論略纂』の関係について　水谷　香奈（東洋大学東洋学研究所客員研究員）

4．『信心銘拈古』跋文考察―跋文に於ける無外義遠の真意について―　梁　　特治（道海）（花園大学大学院）

5．Chan Buddhism during the time of Yixuan and Hsingyun: Applying Chinese Chan principles to contemporary society
Shi Juewei
（Associate Lecturer, Nan Tien Institute）

6．林泉従倫『空谷集』の評唱について　小早川浩大（曹洞宗綜合研究センター専任研究員）

7．A Study of Dunhuang Manuscript S4221: Is the second part of S4221 also a work of Xie Fu?
洪　　鴻榮
（Associate Professor, Dharma Drum Institute of Liberal Arts）

９月20日（日）　午前の部（９：00～11：40）

1．『釈禅波羅蜜次第法門』における因縁門について　大松　久規（駒澤大学禅研究所研究員）

2．天台智顗よりみた三論　林　　瑞蘭（立正大学大学院）

3．灌頂の戒律観―十種戒を中心として―　日比　宣仁（早稲田大学大学院）

4．視点一つと天台の一念　潘　　哲毅（叡山学院比叡山文化研究所研究員）

5．宋代における六即解釈の一様相―六即の能所義について―　久保田正宏（早稲田大学大学院）

6．資聖寺道液による天台文献の依用について　松森　秀幸（創価大学助教）

7．明曠撰『天台菩薩戒疏』と『天台八教大意』の成立前後に関する一試論
村上　明也（龍谷大学非常勤講師）

8．神智従義の複俗義について　弓場苗生子（天台宗典編纂所嘱託職員）

＊発表者は発表時間の40分前までに会場にお入りください。

第７部会（本館206教室）

９月19日（土）　午前の部（９：00～11：40）

1．智儼撰『金剛般若経略疏』における解・行の意義　櫻井　唯（早稲田大学大学院）
2．文超『随聞要科自防遺忘集』における観法　中西　俊英（東大寺華厳学研究所研究員）
3．華厳の神とその役割に対する再照明　陳　永裕（中央僧伽大学校教授）
4．李通玄の教判論の特質とその影響―教禅一致の仏教の成立―
小島　岱山（華厳学研究所所長）
5．『釈摩訶衍論』における「三十三法門」の意義―十種論との関わりを中心に―
関　悠倫（大正大学副手）
6．『大日経義釈』の再治に関する一、二の問題　真野　新也（早稲田大学非常勤講師）
7．順暁から最澄への密教授法について―入唐時、唐土における密教伝播の状況からみたその内容と問題点―
岩崎日出男（園田学園女子大学教授）
8．則天武后の「降兜率」　手島　一真（立正大学教授）

９月19日（土）　午後の部（13：20～15：40）

1．曇鸞の浄土観に関する一考察　長宗　博之（龍谷大学大学院研究生）
2．『往生論註』における諸仏国土観　石川　琢道（大正大学特任専任講師）
3．憬興『観経疏』復元の試みとその思想的意義について　中村　玲太（真宗大谷派親鸞仏教センター研究員）
4．龍門石窟薬方洞「究竟荘厳安楽浄土成仏銘記」と1074窟造像記に見る慧審の誓願―善導との比較を中心に―
倉本　尚徳（中央研究院歴史語言研究所助研究員）
5．迦才『浄土論』における処不退説再考　工藤　量導（大正大学綜合佛教研究所研究員）
6．『念仏鏡』引用の「法王本記」について　加藤　弘孝（知恩院浄土宗学研究所研究助手）
7．『十住毘婆沙論』の成立に関する一考察　桑原　昭信（浄土真宗本願寺派宗学院研究員）

９月20日（日）　午前の部（９：00～12：00）

1．『小涅槃経』の成立背景―宗祐寺所蔵仏涅槃図を手がかりとして―
岸田　悠里（龍谷大学大学院）
2．『涅槃経』と「無常偈」　森山　結希（大谷大学大学院）
3．真如縁起（随縁）説の思想史的背景―中国仏教における『究竟一乗宝性論』の位置付けの再検討―
李　子捷
（駒澤大学大学院、日本学術振興会特別研究員 DC）
4．『占察経』における地蔵菩薩の役割　伊藤　真（佛教大学非常勤講師）
5．On the Education of Bhikkunis as the Social Literacy in Early Chinese Buddhism
孫　眞（東国大学校仏教学術院研究員）
6．『般若心経』をめぐる諸問題　石井　公成（駒澤大学教授）
7．釈彦琮の出自と著作　齊藤　隆信（佛教大学教授）
8．ネパール現存の梵語・ネワール語混成写本について　Shakya Sudan（種智院大学講師）
9．奥書が無いネワール仏教写本の書写者たち　吉崎　一美（東洋大学大学院修了）

＊発表者は発表時間の40分前までに会場にお入りください。

第８部会（本館205教室）

９月19日（土）　午前の部（９：00～11：20）

1．『正法眼蔵重写記』について　秋津　秀彰（駒澤大学大学院）
2．乙堂喚丑『正法眼蔵続絃講議』の修証観論争　菅原　研州（愛知学院大学講師）
3．『永平広録』巻一17上堂考―『別本心不可得』『他心通』と関連して―　若山　悠光（駒澤大学大学院）
4．道元禅師門下における「正伝」の意識について　石井　清純（駒澤大学教授）
5．『禅林象器箋』に見られる尼の呼称について　海老澤早苗（永平寺史料全書編纂室主任調査研究員）
6．金沢文庫蔵『法門大綱』における禅思想　古瀬　珠水（鶴見大学仏教文化研究所兼任研究員）
7．鈴木大拙の ejaculation の説をめぐって　石井　修道（駒澤大学名誉教授）

９月19日（土）　午後の部（13：20～16：00）

1．太賢の『梵網経古迹記』に関する一考察―元暁との関連を中心として―　李　忠煥（花園大学大学院）
2．朝鮮・栢庵性聰の『浄土寶書』について　韓　普光（泰植）（東国大学校教授）
3．安澄の『中観論記』に見られる聰法師成論章に対する考察　崔　恩英（金剛大学校佛教文化研究所 HK 教授）
4．大乗の権・実についての再検討　多田　修（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）
5．草木成仏に関する毘沙門堂流の教義変化　堀端　英一（佛教大学大学院）
6．園城寺公胤の地蔵願文について　舘　隆志（花園大学非常勤講師）
7．『最後潅頂常行心要法』における「信知」　亀山　隆彦（龍谷大学非常勤講師）
8．最澄の九方院と九院の構想　桑谷　祐顕（叡山学院教授）

９月20日（日）　午前の部（９：00～12：00）

1．『御託宣記』における覚心の習合的思想　高柳さつき（公益財団法人中村元東方研究所研究員）
2．沢庵『不動智』の諸武術への影響について　笠井　哲（福島工業高等専門学校教授）
3．黄檗版『大般若経』の改刻について　松永　知海（佛教大学教授）
4．法然と明遍の念仏　伊藤　茂樹（知恩院浄土宗学研究所研究員）
5．法然の九宗歴訪時期　長谷川浩文（浄土宗西山深草派宗学院助手）
6．明遍浄土教と弁長の浄土教学　那須　一雄（龍谷大学大学院修了）
7．珍海撰『決定往生集』における第二十願の位置づけ　成瀬　隆順（早稲田大学大学院）
8．『浄土の観念』における批判の射程　東　真行（大谷大学大学院）
9．良忠と元照浄土教―『観経疏伝通記』を手掛かりに―　陳　敏齡（輔仁大学副教授）

＊発表者は発表時間の40分前までに会場にお入りください。

第９部会（本館204教室）

９月19日(土)　午前の部（９：00～11：40）

1．真宗伝道者に関する基礎的考察　奥田　桂寛（龍谷大学大学院）
2．真宗の救済観―第二十願を中心として―　波佐谷信道（大谷大学大学院）
3．真宗における現代教学の現状と課題　頼尊　恒信（和歌山赤十字看護専門学校非常勤講師）
4．善導の著作における護念の解釈―西山教学の立場から見て―
佐伯　憲洋（早稲田大学大学院）
5．善導五正行における道綽宿善論の影響についての一考察　杉浦　道雄（同朋大学非常勤講師）
6．親鸞の末法観と『弁正論』　藤原　　智（真宗大谷派親鸞仏教センター研究員）
7．親鸞における信心の業識　武田未来雄（真宗大谷派教学研究所所員）
8．親鸞における智慧　紅楳　英顕（相愛大学名誉教授）

９月19日(土)　午後の部（13：20～16：00）

1．存覚と初期真宗教団の善知識観　脇　　智子（龍谷大学大学院）
2．南溪師の行信論研究―厳牛事件を中心として―　伊藤　雅玄（龍谷大学大学院）
3．西本願寺本『教行信証』の本文整理　冨島　信海（龍谷大学大学院研究生）
4．東陽円月の外教観　菊川　一道（龍谷大学研究生）
5．『恵信尼消息』第三通第四葉「又このくには」の位置についての考察
廣田万里子（真宗大谷派善福寺衆徒）
6．曇鸞『論註』「八番問答」についての知空著『論註翼解』の註解
飯島　憲彬（龍谷大学大学院博士課程満期退学）
7．覚如・存覚を支えた門弟達―初期本願寺教団の生成―　龍口　恭子
（公益財団法人中村元東方研究所東方学院講師）
8．僧純撰『妙好人伝』三篇巻上における妙好人説話と真宗聖教
龍口　明生（龍谷大学名誉教授）

９月20日(日)　午前の部（９：00～12：00）

1．日蓮における地涌菩薩　桑名　法晃（立正大学大学院）
2．松誉著『翻迷開悟集』における『邪正問答』への反駁　庵谷　行遠（早稲田大学大学院）
3．身延文庫蔵「決疑鈔糅義」断簡の一考察　南　　宏信（知恩院浄土宗学研究所研究助手）
4．初期日蓮教団をめぐる富士山信仰の諸問題　長倉　信祐（日蓮正宗教学研鑽所所員）
5．吉良義央と日脱の交流―七面大明神信仰を中心に―　髙井　恭子（愛知県立芸術大学非常勤講師）
6．日蓮聖人における富木尼教化の一考察　奥野　本勇（立正大学非常勤講師）
7．長松日扇における教化活動の一研究―曼荼羅本尊授与にみる教導をめぐって―
武田　悟一（立正大学助教）
8．日鏡『章疏目録』に関する研究　木村　中一（身延山大学准教授）
9．千箇寺詣の信仰形態　望月　真澄（身延山大学教授）

＊発表者は発表時間の40分前までに会場にお入りください。

第10部会 & 特別部会（本館203教室）

第10部会

9月19日(土)　午前の部（9：00～11：40）

1．島田裕巳著『葬式は、要らない』の葬儀費用に関するデータ分析について
愛宕　邦康（東洋大学東洋学研究所客員研究員）
2．Fagua Festival: A Socio-Popular Festival of the Oraon Buddhist Community of Bangladesh
Shantu Barua（龍谷大学大学院）
3．初代伊藤忠兵衛氏と土光敏夫氏に見る経営理念における仏教思想のあり方
辻井　清吾（駒澤大学仏教経済研究所研究員）
4．曲直瀬玄朔の学則について―江戸時代医学の倫理と仏教―　進藤　浩司（愛知学院大学非常勤講師）
5．入蔵者と「戦争」―満洲国興安北省時輪金剛仏曼陀羅廟建立をめぐって―
髙本　康子
（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター共同研究員）
6．密教図像と別尊曼荼羅の構想　眞鍋　俊照（四国大学教授）
7．古様の請雨曼荼羅　髙間由香里（大阪教育大学講師）
8．南スマトラ・Jambi 出土金銅四臂菩薩立像について　伊藤奈保子（広島大学准教授）

9月19日(土)　午後の部（13：20～16：00）

1．四国地方における各種巡礼　柴谷　宗叔（高野山大学密教文化研究所委託研究員）
2．日本僧からみた「曇無徳部（Dharmaguptaka）」　大谷　由香（龍谷大学・花園大学非常勤講師）
3．江戸期における『金七十論』研究の背景　興津　香織（國學院大学非常勤講師）
4．『十訓抄』における「見る」ということ―「冥―顕」像との関連から―　川本　豊（佛教大学研究員）
5．中井竹山と会沢正志斎による仏教批判　栗本　眞好（花園大学大学院博士課程満期退学）
6．鎮源『法華験記』と慶滋保胤『日本往生極楽記』　岡田　文弘（東京大学大学院）
7．尊海撰『原人論発微録鈔』考―近世真言宗における禅宗理解―　千葉　正（駒澤大学仏教経済研究所研究員）
8．明治印度留学生―その南アジア体験を巡って―　奥山　直司（高野山大学教授）

特別部会（空海と高野山）

9月20日(日)　午前の部（9：00～12：00）

1．空海撰「恵果碑文」における「法界宮」の典拠について　高柳健太郎（高野山大学大学院）
2．『請来目録』と密教経軌との関係―天野山金剛寺聖教を中心に―　赤塚　祐道（新義真言宗徳蔵寺住職）
3．空海の言語観　松長　恵史（高野山大学准教授）
4．日本密教における『瑜祇経』所説の尊格理解　鍵和田聖子（龍谷大学非常勤講師）
5．中世真言教学における識大の解釈　林山まゆり（早稲田大学本庄高等学院講師）
6．『覚阿問答鈔』と高野山大学図書館蔵『覚範問答』について　佐藤　もな（帝京高等看護学院非常勤講師）
7．中院流所伝の『理趣経法』について　佐藤　隆彦（高野山大学教授）
8．高野山講堂本尊攷―阿閦か薬師如来か―　武内　孝善（高野山大学名誉教授）
9．瓦礫にいのちがあるか―真言密教からの環境試論―　松長　有慶（高野山大学名誉教授）

＊発表者は発表時間の40分前までに会場にお入りください。

日本印度学仏教学会第66回学術大会パネル発表

9月20日（日）　13：40～16：10

パネル発表Ａ　（本館402教室）

テーマ：終末期緩和医療で医療者と協働できる仏教者の考察

代　表：早島　理（龍谷大学教授）

1．終末期緩和医療で医療者と協働できる仏教者の育成、医学教育の現場から
室寺　義仁（滋賀医科大学教授）

2．終末期緩和医療の現場で医師が望む仏教者とは、医師の立場から
田畑　正久
（宇佐市佐藤第二病院長、龍谷大学教授）

3．終末期緩和医療の患者さんを支える仏教者とは、看護師の立場から
平野　頼子
（NPO法人緩和ケア支援センターコミュニティ代表理事）

4．終末期緩和医療における仏教者の役割、臨床僧侶の立場から
長倉　伯博
（浄土宗本願寺派善福寺住職、滋賀医科大学非常勤講師）

5．コメント　早島　理（龍谷大学教授）

パネル発表Ｂ　（本館403教室）

テーマ：How Did Tantras Establish Their Authorities?　Relationship between Tantras and Traditional Religions

代　表：種村　隆元（大正大学特任准教授）

1．パネルの趣旨説明　種村　隆元（大正大学特任准教授）

2．Śākta-Śaiva and Buddhist Tantric Strategies of Acceptance　Alexis Sanderson
（オックスフォード大学教授）

3．Śūnya in Śaiva and Buddhist Tantrism　苫米地等流（一般財団法人人文情報学研究所主席研究員）

4．TBA　Harunaga Isaacson
（ハンブルグ大学教授）

パネル発表Ｃ　（本館302教室）

テーマ：過類（jāti）をめぐって―ディグナーガに至る vāda の伝統の解明への一視点―

代　表：小野　基（筑波大学教授）

1．過類研究のこれまでとこれから―パネルのねらい―　小野　基（筑波大学教授）

2．『集量論註』における文献学的および思想史的問題　渡辺　俊和
（オーストリア科学アカデミーアジア文化・思想史研究所研究員）

3．『正理門論』と『集量論』の過類論の比較　室屋　安孝（ライプツィヒ大学研究員）

4．『論軌』の過類論に対するディグナーガの批判　小野　基（筑波大学教授）

5．コメント　桂　紹隆（広島大学名誉教授）

＊発表者は発表時間の40分前までに会場にお入りください。

パネル発表Ｄ　（本館201教室）
テーマ：中世の密教儀礼と舎利信仰
代　表：乾　　仁志（高野山大学教授）

１．真言密教から見た中世研究の意義　　乾　　仁志（高野山大学教授）
２．法会から見た密教儀礼　　小峯　和明（立教大学名誉教授）
３．密教儀礼の正統性と非正統性　　ルチア・ドルチェ
（ロンドン大学アジア・アフリカ学院准教授）
４．如意宝珠と舎利信仰　　佐藤　隆彦（高野山大学教授）
５．舎利と往生　　苫米地誠一（大正大学教授）

パネル発表Ｅ　（本館304教室）
テーマ：煩悩の根源をめぐって―vikalpa（分別）と prapañca（戯論）―
代　表：榎本　文雄（大阪大学教授）

１．初期仏教文献における prapañca（/papañca）　榎本　文雄（大阪大学教授）
２．説一切有部における vikalpa（分別）　一色　大悟（東京大学特任研究員）
３．初期大乗経典における vikalpa（分別）批判―『般若経』を中心として―
渡辺　章悟（東洋大学教授）
４．中観派における vikalpa（分別）と prapañca（戯論）
斎藤　　明（東京大学教授）
５．瑜伽行派における vikalpa（分別）　高橋　晃一（東京大学特任研究員）
６．仏教認識論における知覚と分別　　石田　尚敬（愛知学院大学専任講師）

＊発表者は発表時間の40分前までに会場にお入りください。

学術大会　日程

9月18日（金）	学術情報委員会	15：00－16：30
9月19日（土）	研究発表（午前の部）	9：00－12：00
	鈴木学術財団特別賞選考委員会	10：00－12：00
	日本佛教学会常務理事会	11：00－12：00
	日本印度学仏教学会理事会	12：00－13：20
	研究発表（午後の部）	13：20－16：20
	記念撮影	16：30－16：50
	会員総会	17：00－18：00
	懇親会	18：00－20：00
9月20日（日）	研究発表	9：00－12：00
	日本印度学仏教学会理事会	12：00－13：30
	パネル発表	13：40－16：10

学術大会　会場

受　　付　　本館 1F エントランスホール

発表会場

第 1 部会	本館 402教室(4F)	第 9 部会	本館 204教室(2F)
第 2 部会	本館 403教室(4F)	第10部会	本館 203教室(2F)
第 3 部会	本館 302教室(3F)	特別部会	本館 203教室(2F)
第 4 部会	本館 305教室(3F)	パネル発表A	本館 402教室(4F)
第 5 部会	本館 307教室(3F)	パネル発表B	本館 403教室(4F)
第 6 部会	本館 308教室(3F)	パネル発表C	本館 302教室(3F)
第 7 部会	本館 206教室(2F)	パネル発表D	本館 201教室(2F)
第 8 部会	本館 205教室(2F)	パネル発表E	本館 304教室(3F)

会員控室　　本館 207教室(2F)・309教室(3F)

日本印度学仏教学会理事会
　　本館 第 3 議室(2F)

日本佛教学会常務理事会
　　大学ホール会議室(1F)

鈴木学術財団特別賞選考委員会
　　本館 第 1 会議室(1F)

学術情報委員会
　　大学ホール会議室(1F)

学会本部　　本館 応接間(1F)

大会本部　　本館 第 2 会議室(2F)

会員総会　　松下講堂黎明館

懇 親 会　　体育館(2F)

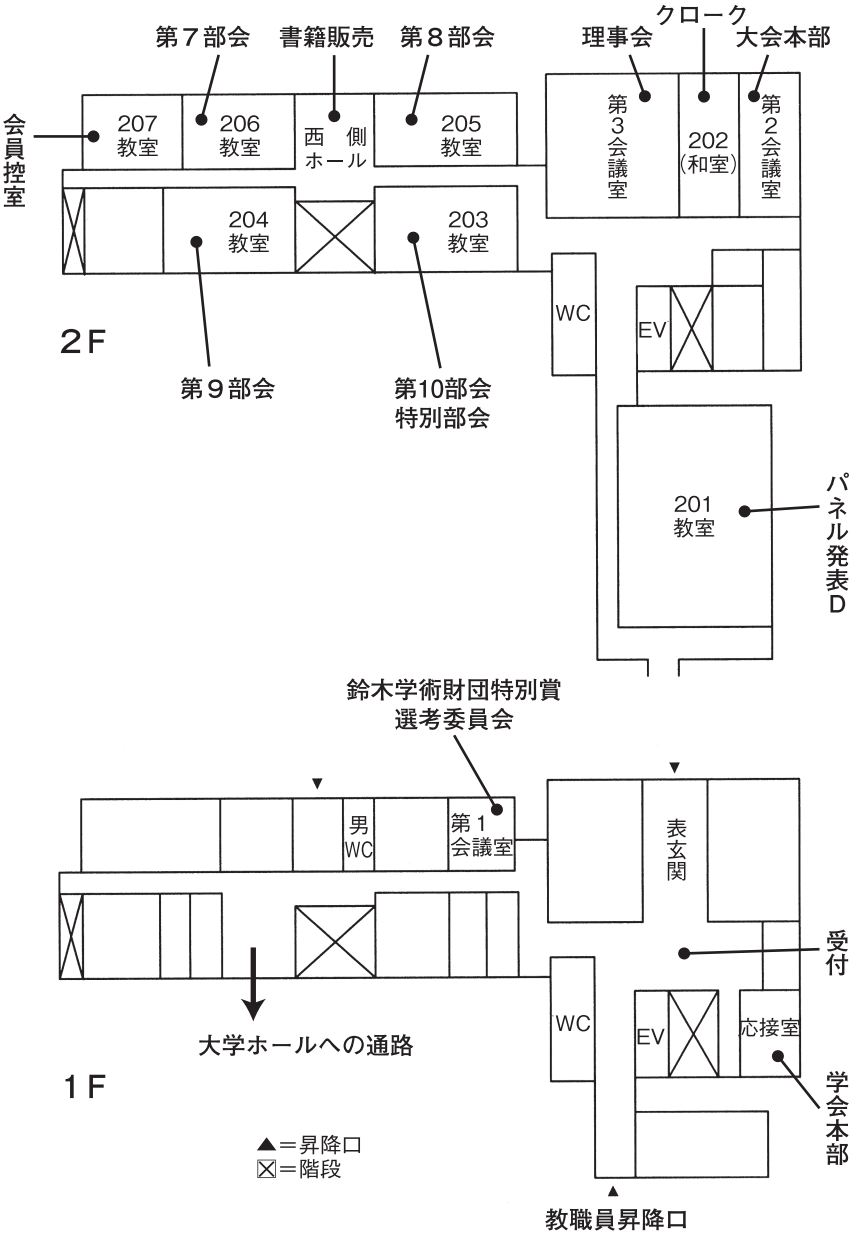
記念撮影　　松下講堂黎明館前

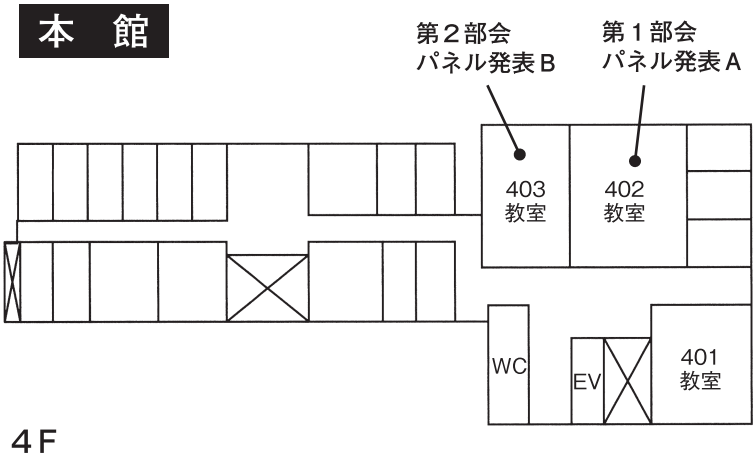
クローク　　本館 202教室(2F)

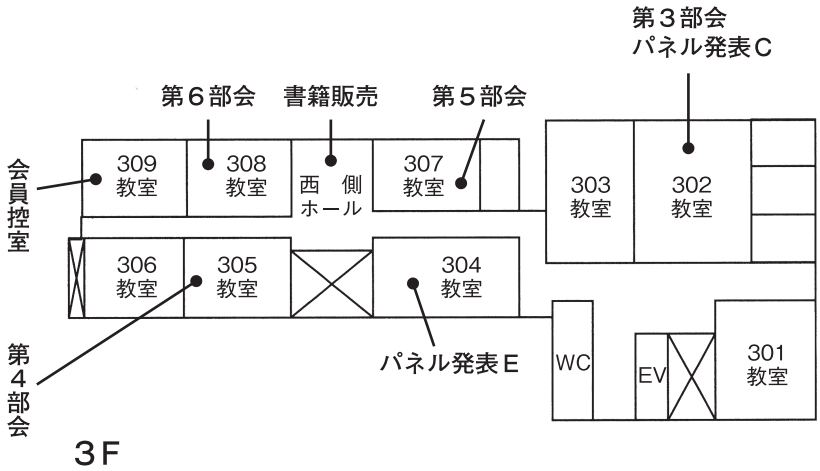
書籍販売　　本館 二階西側ホール・三階西側ホール

会場案内

本館

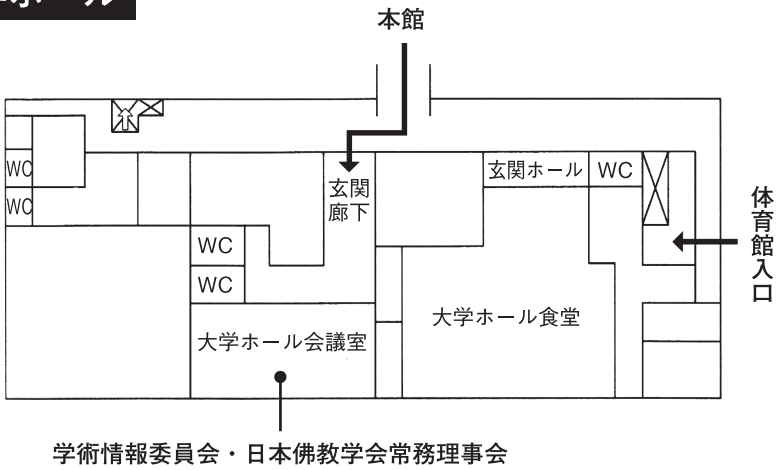

第７部会
書籍販売
第８部会
理事会
クローク
大会本部
会員控室
207 教室
206 教室
西側ホール
205 教室
第3会議室
202 (和室)
第2会議室
204 教室
203 教室
WC
EV
2F
第９部会
第10部会 特別部会
201 教室
パネル発表D
鈴木学術財団特別賞 選考委員会
男 WC
第1会議室
表玄関
受付
WC
EV
応接室
学会本部
大学ホールへの通路
1F
▲＝昇降口
☒＝階段
教職員昇降口


本　館
第２部会
パネル発表Ｂ
第１部会
パネル発表Ａ
403
教室
402
教室
WC
EV
401
教室
４Ｆ


第３部会
パネル発表Ｃ
第６部会
書籍販売
第５部会
会員控室
309
教室
308
教室
西　側
ホール
307
教室
303
教室
302
教室
306
教室
305
教室
304
教室
第４部会
パネル発表Ｅ
WC
EV
301
教室
３Ｆ

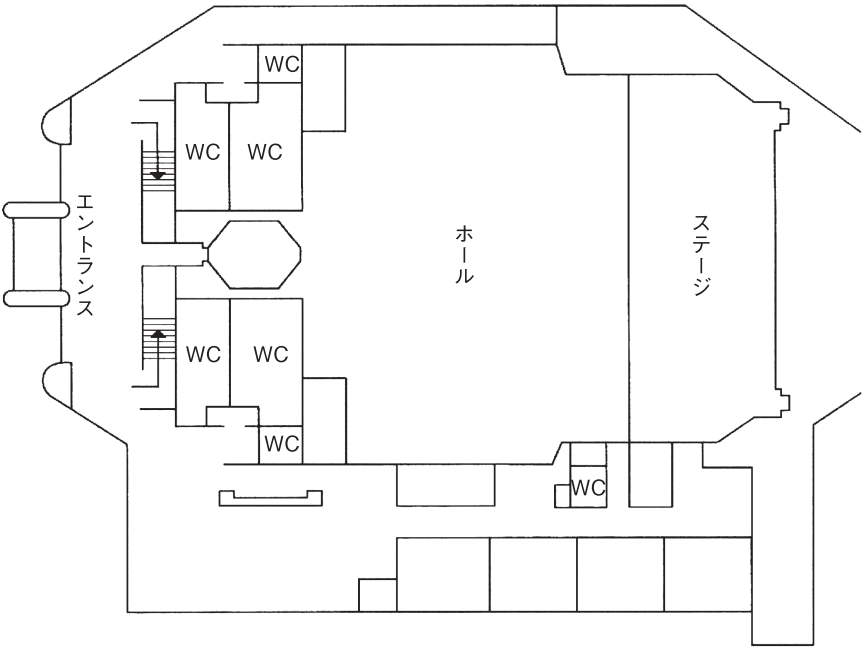
大学ホール

1F

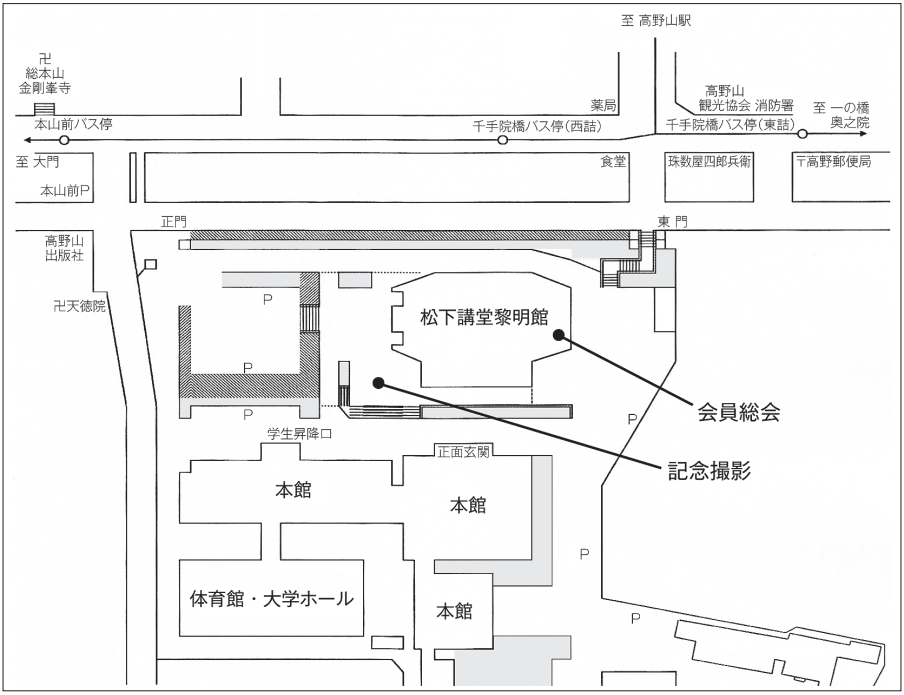


2F **体育館** 懇親会会場

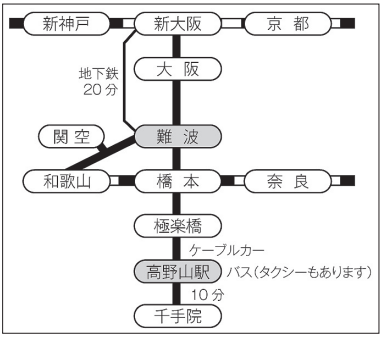
松下講堂黎明館 会員総会会場



会場へのアクセスマップ



●地下鉄御堂筋線で新大阪駅よりなんば駅まで20分
・南海高野線で難波駅より高野山駅まで、特急で１時間30分、急行で１時間50分
●関西国際空港から南海空港線空港急行で天下茶屋駅まで45分
・南海高野線で天下茶屋駅より高野山駅まで特急で１時間20分、急行で１時間40分
●高野山駅より南海バスで千手院橋バス停まで約10分
・バス停より大学まで徒歩２分



日本印度学仏教学会第 66 回学術大会実行委員会

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山385　高野山大学内

Tel：0736-56-2921　Fax：0736-56-2746

E-mail：inbut66@koyasan-u.ac.jp